

ニッポン・プロダクト再考

日時：2016年7月9日（土）14:00~17:00

会場：神戸大学大学院国際文化学研究科 大会議室（E棟4階）

*入場無料、予約不要

Nippon Product

Date : 9th July 2016 14:00-17:00

Place : Large Meeting Room, 4F, E-Building, Kobe University.

*Free Admission, This Symposium Does Not Require Reservation.

第一部 研究報告

14:00-15:40

1. 生田ゆき（三重県立美術館学芸員）Ikuta Yuki, Mie Prefectural Art Museum
「型紙から KATAGAMI へ 触媒としての伝統工芸」
KATAGAMI Rediscovered: Traditional Crafts as a Catalyzer
2. 川上比奈子（摂南大学理工学部教授）Kawakami Hinako, Setsunan University
「漆芸家、菅原精造がアイリーン・ 그레이の家具・インテリア・建築に及ぼした影響」
The Influences of Lacquer Artist Seizo Sugawara on Furniture, Interior, and Architecture Works of Eileen Gray
3. 小野原教子（兵庫県立大学経営学部准教授）Onohara Noriko, University of Hyogo
「現代イギリスファッションにおけるキモノ文化受容について」
Reception of Kimono Culture in Contemporary British Fashion

第二部 パネルディスカッション

16:00-17:00

パネラーによる討論（1時間程度）Panel Discussion (1hour)
司会・進行：朝倉三枝（神戸大学）

近年では、“クール・ジャパン”の言葉と共に、アニメや漫画、ファッション、和食など、さまざまなものが海外に紹介され、大きな注目を集めています。ですが、そうした日本に注がれた眼差しというものは、内側からはなかなか見えづらいものです。海外から見た日本とは一体、どのようなものなのでしょうか。デザイン史学研究会第14回シンポジウムは、海外に影響を与えた日本の製品をテーマに、19世紀末から現代に至るまで、日本の文化が海外でどのように受容され、世界中のアーティストやデザイナーに影響を与えてきたのか、ファッションやインテリアなど幅広い視点から検討してみたいと思います。

お問合せ：朝倉三枝 asakura@port-kobe.u.ac.jp